

山口県感染症発生週報

(第9週:平成24年2月27日～3月4日)

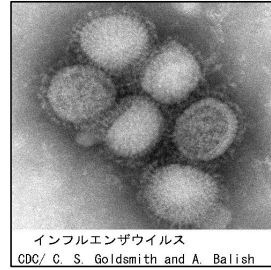
1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第7週追加:1例(宇部1例)。第8週追加:2例(周南、長門)。第9週:3例(下関2例、周南)。

【3類感染症】

◆腸管出血性大腸菌感染症: 第9週:1例(山口 O26;VT1、先週報告分の家族)。



2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 患者報告数は4週連続して減少し、ピーク時の1/3未満となりましたが、警報レベルが続いています。すべての地域で減少しており、防府は今週警報レベルの終息基準値を下回りました。宇部は注意報レベル、その他の地域は警報レベルです。迅速検査では、A型陽性1006例、B型陽性52例、臨床診断59例でした。また当所で、第8～9週の検体についてPCR検査を行った結果、A/H3(香港型)が7例、B型が3例検出されています。【警報レベル=下関(6週目)、長門(7週目)、周南(10週目)、山口(第7週)、萩(6週目)、柳井(7週目)、岩国(7週目)】【注意報レベル=宇部(7週目)】※

◆RSウイルス感染症: 長門は他地域と比較して多くみられます。

◆感染性胃腸炎: 山口、周南は他地域と比較して多くみられます。周南健康福祉センター管内の障害者支援施設において集団発生がありました。当所の検査で、ノロウイルスGⅡ/12が検出されています。

◆伝染性紅斑: 周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(7週目)】※

◆流行性耳下腺炎: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(13週目)】※

◆マイコプラズマ肺炎: 今週は10例報告がありました。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	7週	8週	9週	疾患名	7週	8週	9週
インフルエンザ	2714	1723	1117	百日咳	0	0	0
RSウイルス感染症	33	46	62	ヘルパンギーナ	0	0	0
咽頭結膜熱	10	8	14	流行性耳下腺炎	21	26	48
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	134	133	159	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	339	385	481	流行性角結膜炎	3	2	8
水痘	74	75	65	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	2	5	0	細菌性髄膜炎	0	1	0
伝染性紅斑	23	23	16	マイコプラズマ肺炎	6	11	10
突発性発しん	29	30	37	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	428	82	54	159	39	97	174	49	35	1117
RSウイルス感染症	21	6	1	15	6	0	2	11	0	62
咽頭結膜熱	2	1	0	1	2	7	1	0	0	14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	29	7	34	9	25	8	7	11	159
感染性胃腸炎	90	60	7	126	20	91	67	7	13	481
水痘	17	4	0	10	4	6	21	2	1	65
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	14	1	1	0	0	0	16
突発性発しん	6	1	1	7	4	5	5	6	2	37
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	11	2	2	0	3	0	0	30	0	48
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	6	0	0	2	0	0	0	8
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	2	0	2	0	0	2	2	0	10
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 その他

・ロタウイルスによる胃腸炎の報告が急増しています。例年4月頃に報告数が多くなっていますので、注意が必要です。